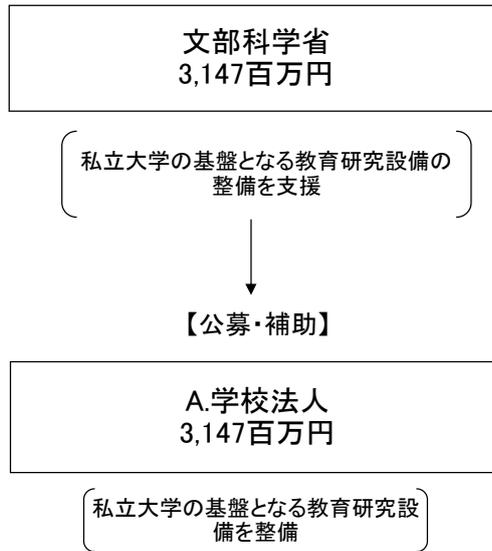


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	私立大学教育研究活性化設備整備事業費補助	<b>担当部局庁</b>	高等教育局私学部	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度開始	<b>担当課室</b>	私学助成課	私学助成課長 森田正信			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	VI-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	私立学校振興助成法第10条	<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	私立大学が建学の精神と特色を生かした人材育成機能を発揮し、及び大学間連携を進め、もって社会の期待に十分に答える教育研究を強化し、進展させ、私立大学の教育改革のこれまで以上の新たな展開を図ることを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	グローバル化の促進や地域の「分厚い中間層」の育成、生涯学習機能の強化など、各私立大学の特色・力点に照らした人材養成像や将来構想に基づく効果的な教育研究の取組を、基盤となる教育研究設備の整備を通じて支援する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	3,147	4,500
		補正予算	-	-	-	0	
		繰越し等	-	-	-	0	
		計	-	-	-	3,147	4,500
	執行額	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業を活用した各大学における教育改革の進展状況	成果実績		-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	教育研究活性化のための基盤的な設備の整備件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
				( - )	( - )	( P )	
<b>単位当たりコスト</b>	P百万円(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =24年度予算額(3,147百万円)÷取組支援件数(P件)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	私立大学教育研究活性化設備整備事業費補助金	3,147百万円	4,500百万円	日本再生戦略に関する「重点要求」4,500百万円			
	計	3,147百万円	4,500百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公教育としての大学教育の大半(8割)を担う私立大学等の教育研究基盤となる設備を整備することにより、教育研究の質を高め、教育改革を進める取組を支援するものであり、優先度は高い。</li> <li>・私学がその特色を一層発揮し、「分厚い中間層」の育成など様々な取組により教育研究の質を向上させるため、公募等を通じて文部科学省が実施する事業である。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、適切な教育改革の構想を有し、そのために必要な設備整備を行う大学等を公募を通じて決定するものであり、効果的なものとなっている。</li> </ul>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により、私立大学等の基盤となる教育研究設備が整備され、教育研究の強化と教育改革のこれまで以上の新たな展開を図ることが期待される。</li> <li>・費目・使途は、各大学から提出される計画書や実績報告書等で把握する予定であり、事業目的に沿ったものであるかどうか確認できる仕組みとしている。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	

(注)当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

A.学校法人			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	教育研究設備の整備	3,147			
計		3,147	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)